

2017年11月  
No.17-148a(本)※5

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして検査内容を変更させていただきますので、取り急ぎ  
ご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### ■検査内容変更項目

- [2024] ゾニサミド
- [2243] エストラジオール( $E_2$ )
- [2410] DUPAN-2
- [2470] シアリル  $Le^X$  抗原(CSLEX)
- [6857] ループスアンチコアグラント[リン脂質中和法]

※変更内容の詳細は次頁以降をご確認下さい。

#### ■変更期日

- 2017年11月30日(木)受付日分より

以上

## ■対象項目/変更内容

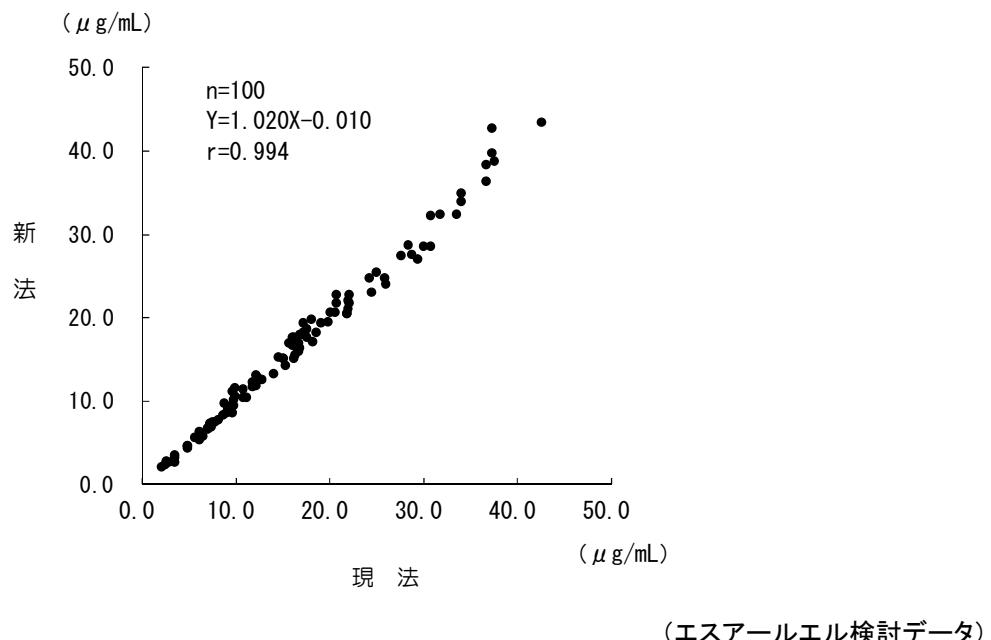
項目 コード	検査項目名	変更内容	新	旧
24 2024	ゾニサミド	検査方法	ラテックス凝集法	HPLC
		材料・検体量	血清 0.5 mL (血漿の削除)	血清 0.2 mL または 血漿 0.2mL
		報告範囲	1.0 未満、1.0～999999.9	0.5 以下、0.6～999000.0
		所要日数	3～6 日	4～7 日
42 2243	エストラジオール (E <sub>2</sub> )	検査方法	ECLIA	CLIA
		基準値	本案内の 4 頁をご参照下さい	
		報告範囲	5.0 未満、5.0～99990000	10 未満、10～99900000
48	2410	DUPAN-2	検体量	血清 0.4mL
-	2470	シアリル Le <sup>X</sup> 抗原(CSLEX)	所要日数	3～8 日
-	6857	ループスアンチコアグラント[リン脂質中和法]	検体の取扱い方	<p>専用容器で採血後、速やかに室温で1500G以上15分間遠心後、バフィーコートより5mm以上うえから血漿を採取して凍結保存にてご提出ください。血小板の混入は、測定結果に影響しますのでご注意ください。</p> <p>※遠心器回転数の計算式  <math display="block">G=1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2</math>     r:遠心器のローター半径      (cm)      n:1 分間あたりの回転数      (rpm)</p> <p>※遠心器回転数の計算式  <math display="block">G=1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2</math>     r:遠心器のローター半径      (cm)      n:1 分間あたりの回転数      (rpm)</p>

※その他の検査要項に変更はございません。

## ゾニサミド

所要日数が短縮可能な自動化試薬に変更させていただきます。

### ■新旧二法の相関



### ■検査方法参考文献

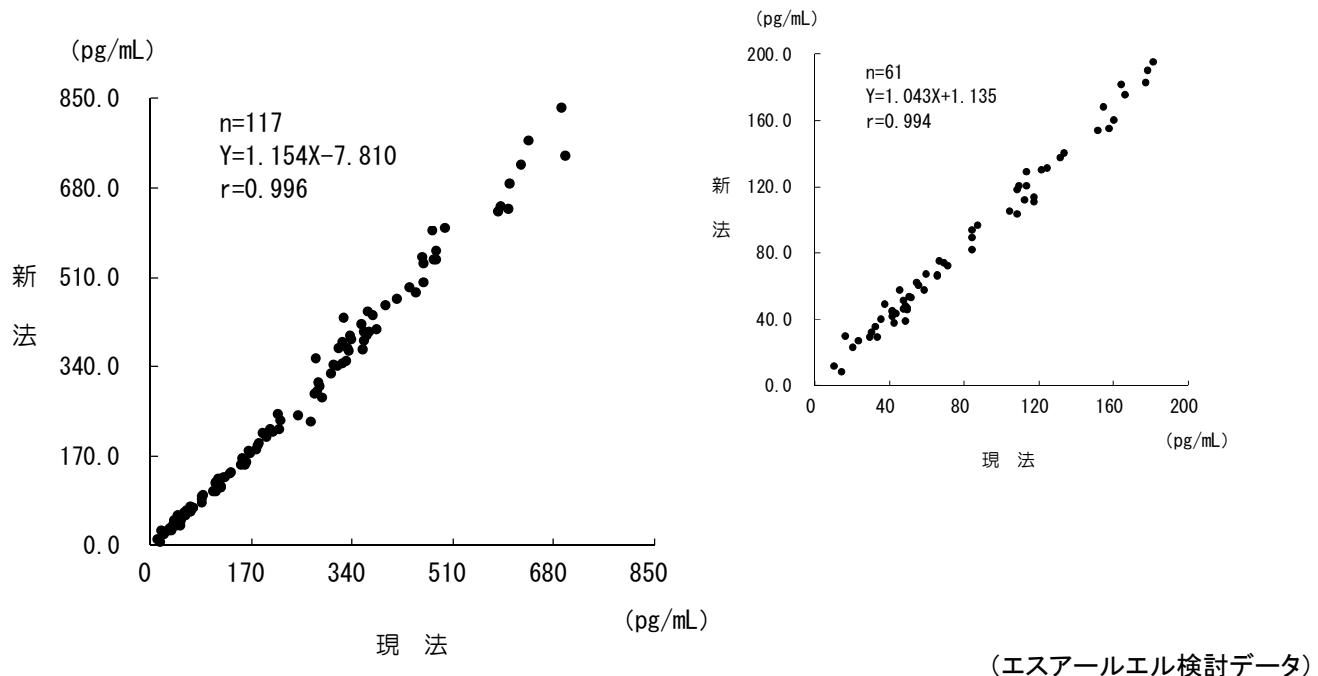
安田 真依,他:医療と検査機器・試薬 38(2):205~210,2015.

## エストラジオール(E<sub>2</sub>)

感度が高い試薬、検査方法へ変更いたします。

併せて、エストラジオール(E2)の基準値を再設定させていただきます。

### ■新旧二法の相関



### ■[2243]エストラジオール(E2) 基準値 (単位:pg/mL)

		変更後		変更前		
非 妊 婦	女性	卵胞期	28.8～196.8	非妊娠 婦	卵胞期	22～147
		排卵期	36.4～525.9		排卵期	57～509
		黄体期	44.1～491.9		黄体中期	56～321
		閉経後	47.0 以下		月経期	7～153
		男性	14.6～48.8		閉経後	6～37
妊 婦	妊娠初期	208.5～4289	男性	10～40		
	妊娠中期	2808～28700	妊娠 婦	妊娠初期	1130～29200	
	妊娠後期	9875～31800		妊娠中期	1110～39700	
			妊娠後期	1760～41600		

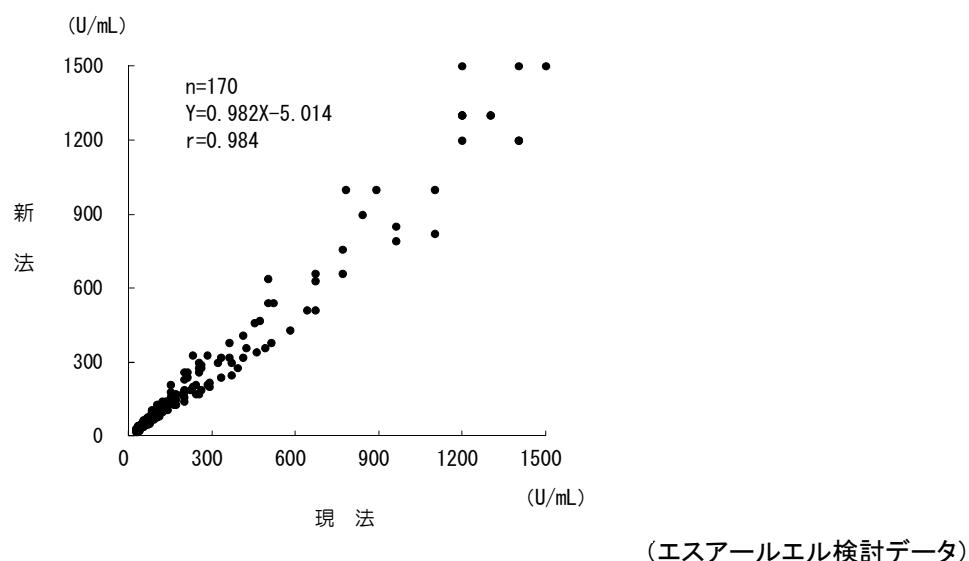
### ■検査方法および基準値参考文献

松崎 利也, 他:医学と薬学 72(5):931～941, 2015.

## DUPAN-2

同一メーカーの改良新試薬へ変更いたします。(現試薬は販売中止となります。)これに伴い、検体量を変更いたします。

### ■新旧二法の相関



## ループスアンチコアグラント

検体取扱い方法におきまして、日本検査血液学会標準化委員会 凝固検査標準化ワーキンググループの「凝固検体取扱いに関するコンセンサス」に基づいた内容に変更いたします。

### ■検体取扱い方法

採血後、速やかに室温で1500G以上15分間遠心後、バフィーコートより5mm以上うえから血漿を採取して凍結保存にてご提出ください。血小板の混入は、測定結果に影響しますのでご注意ください。

※遠心器回転数の計算式  $G=1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$

r:遠心器のローター半径 (cm)

n:1分間あたりの回転数 (rpm)